

第3回 加茂市都市計画マスタープラン策定委員会
議事要旨

日時：令和5年12月25日（月）14：00～

場所：加茂市役所 3階 301会議室

出席者：以下のとおり（敬称略）

区分	氏名	所属・団体名
第1号 学識経験者	松川 寿也	長岡技術科学大学 准教授
	鈴木 孝男	新潟食料農業大学 教授
第2号 関係団体	海津 恵美	七谷さとやまふぁーむ
	佐藤 愛子	えちご中越農業協同組合 経営管理委員
	川崎 大一郎	株式会社 川崎薬品商会
	川上 和哉 (欠席)	有限会社 川上製作所 代表取締役社長
	藤田 和子 (欠席)	特定非営利活動法人 わくわくクラブ 理事長
第3号 その他	片岡 廣夫	公募委員
	笹川 裕子	公募委員
	森田 佑介	公募委員
	市川 恭嗣	加茂市 CSO
オブザーバー	上村 康司	新潟県三条地域振興局地域整備部 部長

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 都市計画マスタープランの考え方の整理について
 - (2) 都市計画マスタープラン策定委員会の役割について（再確認）
- 4 閉会

(1) 都市計画マスタープランの考え方の整理について

～委員長資料説明～

(2) 都市計画マスタープラン策定委員会の役割について（再確認）

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員)

・加茂駅前プラットフォーム策定委員会との立ち位置が分からない。国土交通省の資料では、エリアプラットフォームは都市計画マスタープランに基づいて定めるものとされている。都市計画マスタープランよりも先に議論が進んでいる。

→(事務局) 加茂駅前のエリアプラットフォームと都市計画マスタープランは並行して検討を進めている。エリアプラットフォームの委員会での検討事項も共有しながら、都市計画マスタープランにも反映していく。

(委員)

・加茂駅前プラットフォームの対象は、商店街を中心とした限られたエリアである。商店街のエリアは加茂市の中でも背骨になる地域であり、集中的に議論をしている。

(委員)

・現在の進捗状況や並行して動いている計画について簡単にまとめたものを頂けると助かる。

(委員長)

・エリアプラットフォームで検討した内容と都市マスタープランが整合しないということはないと思う。ただし、都市計画マスタープランでは、あまり細かい内容までは決めずにざっくりとした方針を位置付けることになる。

(委員)

・この委員会は議論の内容を決める際には多数決など決まりはあるのか。

→(委員長) 検討委員会であるため、決を採ることに主眼を置いた会議ではない。あくまでも議論をしていただき、事務局がそれを採用するか判断する。

(委員)

・都市計画マスタープランはわれわれが日常であまり接していない部分であり、専門用語が多く理解が難しい。専門用語に注記を追加している単語もあるが、まだ不足している。

(委員)

- ・計画において「即する」や「整合する」はどう意味するのか。上位計画とどこまで合わせていかなければいけないのか。自由度は全くないのか。
→ (委員長) 何をもって即するのか、整合するのか、その辺のところはあまり明確な定義がない。その中でも同じ情報共有、同じ認識の下で議論をしていくことが必要である。

(委員)

- ・資料1の24ページの「非線引き用途地域」や「住居系地域」などの用語はなじみがない。場合によってはこういうのを個別でレクチャーをお願いしたい。

(委員)

- ・今後土地利用を議論していくに当たって、25ページの用途地域は恐らく何らかの成り立ちがあってこういうふうを設定している。意図して自由度を持たせてこの色分けにしているなどのストーリーもあると思うので、そのあたりを話していただくと議論が進みやすい。

【委員会終了後、委員懇談会を実施】

以上